

# しょうじ だいじ うお 小事が大事を生む！

昨日のミーティングで話したことです。どんなおおきなこと（大事）をやりとげるにしても、まずは目の前の小さなこと（小事）を、確実にコツコツとつみあげることからはじまるのだという意味です。話は少し古くなりますが、メジャーリーグでシーズン262安打の新記録を樹立したイチロー選手に、「どうしたら、そんなすごいことができるようになるのですか」と、あるスポーツ記者が聞いたそうです。その時イチロー選手は「新記録を目標にしていたわけではありません。毎日、毎日、今自分がやらなければならないことを確実にやりきることしか考えていません。毎日の積み重ねで、結果として262本という数字になっただけです。」と、平然と答えたそうです。

勉強の成績が伸びないから、学習塾に通う者がいる。何も塾に通うことを、全面的に否定するつもりはない。でも、塾に行きさえすれば成績が伸びるはずだと、安易に考えている生徒がとても多いことに疑問を持つ。毎日の授業で先生の話をしっかり聞くこと、きちんとノートをとること、与えられた課題は期限を守って必ず提出すること、テストのやりなおしをすること…etc。それらを、徹底することなしに成績の向上はありえない。もっと、基本的なことがある。朝は自分で起きること、朝食をきちんととること、時間を守ること、あいさつをきちんとすること、身のまわりの整理整頓をすることなどのあたりまえのことを徹底したい。すなわち、自立した行動がとれる中学生になることだと思う。その基盤なしに、人間的成長はありえないのだ。

陸上競技も同じ。日本一になるためのすごい練習は知らない。そんな練習を、追い求めても故障するだけで、たとえそれがうまくいっても、すぐに燃え尽きてしまうだろう。大切なのは、いつも先生が言っていることですよね。一見、平凡に見える練習でも、集中すること。継続すること。そしてはっきりとした夢や目標をいつも持ち続けることなのです。

ここ一番で自分を信じられる選手になれることができれば、その人は強い選手になります。大事なレース前に「ここまで自分は悔いなく、やるべきことはすべてやりきった。あとは自分の力を出し切るだけだ。」と思えるようになることです。もうすぐ勝負の夏がやってくる。小事が大事を生むことを心に刻みこみ、日々の練習に取り組んでいきたい。

～『2007年陸上部通信』より～

